

授業情報			
開講年度	2026年度	開講箇所	大学院教育学研究科
科目名	数学科教育特論IV-2		
担当教員	高木 悟		
学期曜日時限	秋学期 01:金6時限		
科目区分	選択・数学科教育特論	配当年次	1年以上
使用教室		キャンパス	早稲田
科目キー	371E220008	科目クラスコード	01
授業で使用する言語	日本語		
授業方法区分	【対面】ハイブリッド(対面回数半数以上)		
コース・コード	EDUX681L		
大分野名称	教育学		
中分野名称	教育学		
小分野名称	その他		
レベル	修士レベル	授業形態	講義
単位数	2		

シラバス情報	
授業概要	春学期の「数学科教育特論IV-1」に続き、ラフ集合理論について輪講形式で授業をする。 対面(zoom中継あり)とオンライン(zoomのリアルタイム形式/waseda moodle のオンデマンド形式)を併用する。
授業の到達目標	ラフ集合理論の基礎を理解する。
事前・事後学習の内容	【事前学習】 次回の学習範囲を予習し、特に自分の発表担当の箇所はより深く理解するよう努める。 【事後学習】 扱った単元を復習し、関連する問題等があれば解いて理解を深める。 毎回合計で4時間程度かかると想定される。
授業計画	#1. ガイダンス・イントロダクション・発表担当決め・春学期の学習内容の振り返り #2～#14. ラフ集合理論輪講
教科書	「ラフ集合と感性」 森典彦他著 海文堂出版
参考文献	「Rough Sets: Theoretical Aspects Of Reasoning About Data」 Z. Pawlak著 Springer
成績評価方法	割合 <input type="text"/> 評価基準 <input type="text"/> 平常点評価: 100% 発表・発表の準備・質疑など授業への参加度合いで評価する。
備考・関連URL	春学期科目「数学科教育特論IV-1」の続きです。まずは「数学科教育特論IV-1」を履修してください。 「数学科教育特論IV-1」、「数学科教育特論IV-2」は隔年開講科目です(西暦偶数年に開講)。 西暦奇数年は、「数学科教育特論III-1」、「数学科教育特論III-2」を開講します(フアンジ理論について学びます)。